

第6学年体育科学学習指導案

日 時 10月16日（木）6校時
学 級 第6学年2組（31名）
指導者 担任 水上 美穂子
本校薬剤師 川名 信一

1 単元名 病気の予防（保健領域）

2 単元の目標

感性・意欲・態度	・病気の起こり方や予防の方法に関心をもち、主体的に学習し、自分の生活を見直して病気の予防の意識が高まるようにする。
思考・判断	・病気の起こり方や予防の方法、また、より望ましい生活行動について考えることができるようにする。 ・病気の予防について、課題を設定し解決の方法を考えたり、判断したりしている。
知識・理解	・病気の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

3 単元について

児童は実際の生活を通して、病気について一定の知識をもっているものもあるが、病気の発生原因については知らないことが多い。病気を予防するためには、病気の発生要因や正しい予防の方法を理解し、予防のための適切な対策を自分で考えて実行することが大切である。本単元を通して病気を予防する正しい知識を身に付けて自分の生活を生かせるようにしたい。

また、この学習を通して他者（友達）と共に考えたり、友達の生き方や考え方を参考にして、自分の生活を振り返ったり、考えたりすることで、自分やみんなを大切にする学習にもつなげていきたい。

4 研究主題との関連

(1) 体育科（保健領域）で目指す児童像

- | |
|--|
| 【心】 友達との関わりの中で、自分や相手を大切にしたい気持ちを育てお互いに高めようと活動する子 |
| 【体】 自ら生活を見つめ、身に付けた知識を生かし、将来に向けてよりよい健康づくりを実践しようとする子 |

(2) 研究主題（児童像）に迫るための手立て

【心】 友達との関わりの中で、自分や相手を大切にして、互いに高め合えるようにするために

- ・学級内に支持的風土をつくり望ましい人間関係を育む工夫

友達の意見が自分の考えと違っていても、最後まで話を聞き、認める活動を通して学級内に支持的風土が高まるようにする。また、意見に反対する時はどこが違うのかを明確に言えるような集団づくりを日常的にしている。

- ・小集団による話し合いを工夫する。

3～4人の小集団で話し合うことにより、多くの児童が自分で考え、自分の意見が言いやすいようにする。そうすることにより、全体では意見が言いにくくても、小集団の中では自分の意見を言いやすくする。また理由を必ず話すことにより、より自分たちの考えが深まるようする。

【体】 よりよい健康づくりを実践しようという意欲を育てるために

- ・外部講師と共に学ぶ機会を設定する。

本校薬剤師に専門的なお話を聞き、薬物に対する正しい知識を学ぶことにより、薬物が心と体に及ぼす影響について理解を深める。

- ・資料や具体物を提示する。

ワークシートや具体物・映像等で提示物を工夫することにより、児童がより興味をもって学習に臨むことができるようにする。また、ワークシートには自分の考えや友達の考えを記入できるように工夫する。

5 指導計画（8時間）

時	児童の活動 児童が知る知識	主な学習活動・●評価	本時に理解したいこと 今後の生活に生かすこと
1	病 気 の 起 り 方 ・病気は病原体、 体の抵抗力、生 活行動、環境な どが関わり合っ て起こること。	1 学習の見通しをもつ。 2 どうして「風邪」をひくのかグループで話し合う。 ワールドカフェ方式で話し合いをする。 ◇すすんで話し合いに取り組んでいる。 (関心・意欲・態度) 3 意見を仲間分けしよう。 ●知識を活用して、意見を分類しようとしている。 (思考・判断) 4 同じような条件でも「かぜ」をひく人とひかない 人がいるのはなぜか話し合う。 5 病気は、病原体、環境、生活の仕方、抵抗力が関 わり合っ て起こることを理解する。 6 本時の学習で分かったこと・考えたこと、これか ら実践したいことを学習カードに書く。 ●学習カードに病気の起こり方について記入でき ている。(知識・理解)	○病気の起こり方を理解 する。 ○自分の健康に関心をも つ。
2	感 染 症 の 予 防 1 ・病原体がもと になって起こる 病気の予防には、 病原体の発生源 をなくしたり、 うつる道筋を断 ち切ったりして 病原体が体の中 に入るのを防ぐ こと。 ・予防接種やバ ランスの取れた 食事、適切な運 動、休養及び睡 眠をとることな どによって、体 の抵抗力を高 めておくことが 必要であること。	1 保健学習通信を活用し、前時の習得すべき知識を 振り返り、友達とよい意見や実践を認め合う。 2 感染症の意味を知る。 3 インフルエンザの予防法を考えよう。 一小集団による話し合い— ●進んで話し合いに取り組んでいる。 (関心・意欲・態度) 4 意見を仲間分けしよう。 ●知識を活用して、意見を分類しようとしている。 (思考・判断) 5 インフルエンザの予防法について詳しく考えよう。 6 本時の学習で分かったこと・考えたこと、これか ら生活に生かしていきたいことを学習カードに書 く。 ●学習カードに感染症の予防について記入でき ている。(知識・理解)	○病原体が体に入るのを 防ぐ。 ○うがい、手洗いを励行 する。 ○咳が出るときはマスク をする。 ○インフルエンザなどが 流行している時は人ご みを避ける。 ○咳エチケットを守る。 ○食品の衛生管理をす る。 ○汗の始末を自分です る。 ○好き嫌いをしない。 ○三食をしっかりとる。 ○予防接種を受ける。 ○換気をする。
3	・食中毒の予防 には、衛生管理 と病原体が体内 に入ることを防 ぐことが必要で あること。	1 保健学習通信を活用し、前時の習得すべき知識を 振り返り、友達とよい意見を認め合う。 2 調理実習でカレーライスを作る場合、食中毒を予 防するにはどうすればよいかグループで話し合う。 (一人一人付箋に書いて発表する。)	○すすんで運動に取 組む。 ○外遊びをする。 ○具合の悪いときは早 めに休む。

	<p>・体に抵抗力をつける日々の生活が大切であること。</p>	<p>●知識を活用して、食中毒の予防法を考えようとしている。(思考・判断)</p> <p>●すすんで話し合いに取り組んでいる。(関心・意欲・態度)</p> <p>3 病原体を体内に入れない食中毒の予防法を知る。</p> <p>4 食中毒を予防するためにも、抵抗力を高めることが大切であることを知る。</p> <p>5 感染症を予防するためには、感染の仕方や症状を見極め、病原体が体内に入るのを防ぎ、体の抵抗力を高めておくことが大切であることを実感する。</p> <p>6 自分の生活の仕方を振り返り、分かったこと、考えたことを学習カードに書く。</p> <p>●学習カードに感染症の予防について記入できている。(知識・理解)</p>	<p>○8時間以上睡眠をとる。</p> <p>○10時までには就寝し、7時までには起きる。</p>
4	<p>生 活 習 慣 病 の 予 防</p> <p>・歯や歯ぐきの病気を取り上げ、口腔の衛生を保つなど、健康によい生活習慣を身に付ける必要があること。</p> <p>・生活習慣病の予防には、糖分、脂肪分、塩分などを取り過ぎる偏った食事や間食を避けたり、健康によい生活習慣を身に付けたりする必要があること。</p>	<p>1 保健学習通信を活用し、前時の習得すべき知識を振り返り、友達とよい意見を認め合う。</p> <p>2 生活習慣病には、どのようなものがあるのかを考える。</p> <p>3 実験映像をもとにむし歯や歯周病のでき方について考える。</p> <p>4 むし歯や歯周病のでき方について理解する。</p> <p>5 どのような生活の仕方をすればむし歯にならないのか話し合う。</p> <p>6 むし歯を予防する4つの視点について知る。</p> <p>●学習カードにむし歯の予防法について記入できている。(知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯菌を増やさない ・歯を強くする ・砂糖を取り過ぎない ・食べ物が口にある時間を短くする。 <p>7 むし歯予防のための改善計画を立てる。</p> <p>●すすんでむし歯予防の作戦を考えようとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>●知識を活用して、生活改善の方法を考えている。(思考・判断)</p> <p>8 本時の学習で分かったこと、これから生活に活かしていきたいことを学習カードに書く。</p> <p>※ 改善計画を実践し、結果がどうであったか学習カードに記入する。</p>	<p>○糖分、脂肪分、塩分などの摂りすぎに注意する。</p> <p>○好き嫌いをしない。</p> <p>○三食をしっかりと食べる。</p> <p>○栄養のバランスを考えて食事をとる。</p> <p>○間食をしない。</p> <p>○8時間以上睡眠をとる。</p> <p>○10時までには就寝し7時までには起きる。</p> <p>○すすんで運動に取り組む。</p> <p>○外遊びをする。</p> <p>○具合の悪いときは早めに休む。</p> <p>○歯磨きをする。</p>
5		<p>1 保健学習通信を活用し、前時の習得すべき知識を振り返り、友達とよい意見を認め合う。</p> <p>2 生活習慣に関する質問に○×で答える。</p>	

		<p>3 日本人の死亡原因から三大生活習慣病（がん 心臓病 脳卒中）について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏った食事（糖分・脂肪・塩分の取り過ぎ）、運動不足、睡眠不足、ストレス、喫煙、飲酒などによって生活習慣病にかかることを知る。 <p>4 健康な生活を実践する作戦を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣カードをもとに、自分の生活を振り返り、課題を発見する。 ・目標を立てる。 ・目標を達成するための具体的な方法を考える。 <p>●すすんで生活改善の方法を考えようとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>◇知識を活用して、生活をの仕方を振り返り、改善の方法を考えている。(思考・判断)</p> <p>5 今日の学習で分かったこと・考えた事を学習カードに書く。</p> <p>●健康な生活習慣を今から身に付けることが大切なことを学習カードに記入できている。(知識・理解)</p> <p>※ 目標を達成するために具体的な方法を実践し、結果がどうであったか学習カードに記入する。</p>	
6	<p>喫煙・喫煙は咳が出たり心拍数が増えたりするなどして呼吸や心臓の働きに対する負担などの影響がすぐ現れること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙により、周囲の人々の健康にも影響を及ぼすこと。 ・長い間喫煙を続けると肺がんや心臓病などの病気にかかりやすくなること。 ・長い間、飲酒を続けると、肝臓などの病気になること。 ・未成年の喫煙、飲酒は法律で禁止されていること。 	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 なぜ、未成年者喫煙禁止法、未成年者飲酒法（満20歳未満の者の喫煙、飲酒を禁止する法律）があるのかを考える。</p> <p>3 20歳になるまで喫煙、飲酒をしてはいけないのは、「大人よりも体に及ぼす影響が大きいから」「大人よりも習慣化しやすいから」であることを知る。</p> <p>4 喫煙の害、飲酒の害について、グループで話し合う。 (意見を出し合って、ワークシートも記入する。)</p> <p>◇すすんで話し合いに取り組んでいる。 (関心・意欲・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙の害、飲酒の害について知る。 <p>5 将来、喫煙をするか、意見を学習カードに記入する。</p> <p>●知識を活用して、自分の意見を学習カードに記入している。(思考・判断)</p> <p>6 全体で意見を交換する。</p> <p>7 本時の学習で分かったこと、考えた事を学習カードに書く。</p> <p>●喫煙、飲酒の害を学習カードに記入できている。 (知識・理解)</p> <p>※家庭で、喫煙、飲酒について話し合う。</p>	<p>○20歳になるまでは、ぜったいに喫煙や飲酒をしない。</p> <p>○誘われても、断固として断る。</p> <p>○大人になっても、適量を守る。</p> <p>○大人になって喫煙や飲酒をしても、周りの人に迷惑をかけない。</p>

<p>7</p> <p>本時</p>	<p>・覚醒剤や危険ドラッグを取り上げ、一回の乱用でも止められなくなったり、死に至ってしまふことがあったりして、心身の健康に深刻な影響を及ぼすこと。</p> <p>・法律で厳しく規制されていること。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 覚醒剤でつかまった芸能人を取り上げ、薬物についてどう思うか意見を出す。 2 薬物乱用が法律で厳しく禁じられているのは、なぜか考える。 3 「乱用」の意味について考える。 4 禁止薬物について知る。 5 薬に対する正しい知識を薬剤師川名先生より教えて頂く。 6 依存性や断ることの大切さについて「役割演技」を行い考える。 <p>●薬物乱用の害について学習カードに記入できている。 (知識・理解)</p> <ol style="list-style-type: none"> 6 薬物に手を出さないために自分が何ができるかについて付箋に書き、グループで大切な順にピラミッドランキングをする。 7 全体で意見を交換する。 8 本時の学習で分かったこと、考えたことを学習カードに書く。 家庭でも話題にする。 	<p>○絶対に薬物に手を出さない。</p> <p>○誘われても断固として断る。</p>
<p>8</p> <p>地域保健活動の取組</p>	<p>・保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていること。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時を振り返る。 2 平均寿命が一番長い日本と一番短い国を比べ、なぜ、こんなに差があるのかを考える。 3 自分たちの命・健康が様々なものによって守られていることに気付く。 4 自分たちの健康を守るために、どのような施設があるのかを考える。 ・「病院」「学校」「薬局」「水道局」「ゴミ処理場」「下水処理場」「保健所」などが、自分たちの健康を守ってくれていることを知る。 5 映像や画像資料から保健所や保健相談所の活動について学ぶ。 <p>●保健所や保健センターの役割や活動を学習カードに記入できている。(知識・理解)</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 病気の予防の学習を振り返って、理解したこと、考えたこと、これから実践していきたいことについて書く。 <p>●これまでの学習で得た知識を活用して、これからの自分の健康や生活について書いている。 (思考・判断)</p>	<p>○健康に関する情報等入手したい時、地域の保健所や保健センターを活用する。</p> <p>○自分たちの健康がたくさんの人の手によって守られていることを知る。</p> <p>○自分の健康だけではなく、みんなの健康を守っていかねばならないことを知る。</p>

6 本時の学習（7／8 時間）

(1) ねらい

- ・薬物が心身に及ぼす害と社会に与える悪影響を理解する。
- ◎薬物には依存性があること、薬物の乱用は法律で厳しく禁止されていることを理解する。
- ◎薬物と関わらないために自分でできることを、友達と話し合いながら考える。

(2) 展開

主な学習活動	○指導上の留意点・支援 ●評価
<p>1 新聞の見出し等から、最近問題になってる薬物について自分の考えをもつ。 本時の課題を知る。 薬物乱用が厳しく禁止されているのはどうしてだろうか。</p>	<p>○思ったことや感じたことを発表するよう指導する。</p> <p>○今まで学習してきたことを確認しながら今日の課題を理解できるようにする。</p>
<p>2 講師の先生から、薬についてのお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬についての知識 ・違法薬物の怖さや実際について 	<p>薬と薬物について</p> <p>● 正しい薬の使い方・違法薬物の怖さについて理解している。(知識・理解) (授業後のワークシートの記入で確認する)</p>
<p>3 薬物に対して、どうして薬物に依存するのかについて考え、話を聞いて考える。 「仲のよい友達に誘われたら？」 「一回くらいなら」 こんな時あなたならどうする？ 教師と子どもの役割演技を見て考える。</p>	<p>○最近話題になっている危険ドラッグの資料を提示し、薬物依存者が急増していることを理解できるようにする。</p> <p>○世 界に おけ る麻 薬 用 の 罰 ふ</p>
<p>4 話を聞いて、将来自分が薬物と関わりをもたないためにできることを付箋に書く。</p>	<div style="text-align: center;"> </div>
<p>5 3人で話し合っ、ピラミッドランキングをし、順位を付ける。ピラミッドランキングをすることで、大切なのは何かを話し合う。</p>	<p>んなに重い のかについて考えるように話す。</p> <p>○薬物に簡単に依存してしまう理由や、手に入りやすいような巧妙な言葉かけなどに注意できるように話す。</p> <p>○薬物乱用の害について学習した知識を活用し自分のこれからの生活について付箋に書き、話し合いながら考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いのきまりを確認する。 相手の意見は批判しないで受け入れた上で、意見を言う。 ・ピラミッドランキングについて説明する。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>ピラミッドランキングとは 自分で思い付いたことを付箋に書き、大切だと思うことや実行したいと思うことをランキングしてピラミッド型にする手法</p> </div>	

乱
者
刑
に
れ
な
ぜ
こ

<p style="border: 1px dashed black; height: 70px; width: 300px;"></p>	<p>書いたものの中から自分でランキングを付け、理由を付けてグループの友達に発表する。</p> <p>さらにグループで話し合い、ランキングを付ける。</p> <p>発表して考えを深め合う。</p>
<p>6 本時の振り返りをする。</p> <p>今日の学習でよかったところや理解できたことを発表する。</p> <p>7 今日の学習のまとめをする。</p>	<p>● 今後、自分の生活の中でどう生かしていくかについて考えている。(思考・判断) (ワークシート)</p> <p>○ 薬物を乱用することに対する危険さについて家族の人と話し合うことを伝える。</p>